

[授業実践・教材研究]

日本語能力試験からヒントを得た、中級レベルでの学習における初級語彙復習のための問題作成について

三好 マリア

1. はじめに

外国語としてのロシア語教育において、復習を含めた語彙学習は非常に重要である。中級レベルにおける語彙学習は、初級と比べて習わなければならない語彙の数が一段と増えてくる一方で、学習者は初級で習った基礎語彙を上手に整理できないまま前へと進むという傾向がしばしば見られる。その理由の一つは初級レベルでの語彙学習そのものの性質にあると考えられる。初級レベルでは、取り扱う語彙の数がごく限られている一方、新しい語を習うと同時にその格変化や活用も覚える必要があることから、語彙学習は文法学習と密接に結びついていると言える。学習者は語を覚える度にその文法的知識の獲得にも追われ、習った語の細かい意味や用法、類義語を含め他の語との関係まで学習することは極めて困難である。さらに、日本国内で受験できるようになっているロシア語検定試験およびロシア語能力検定試験の初級レベルの語彙問題は、語の中核的な意味、文法的特徴や主な用法さえ理解すれば、それ以上の知識がなくても解けるようになっていることの影響もあるであろう。上記の理由から、中級レベルに進級した日本人ロシア語学習者は、語彙のことを単に暗記するものかと思いき、語彙を体系的に捉え、コロケーションなどを含めた用法の特徴、他の語や表現への言い換えの可否、使い分けなどといった相互関係を十分理解しているどころか、語彙学習そのものに対する関心を失い、絶望していることがよくある。

中級学習者のより意識的かつ体系的な語彙学習を促すとともに、語彙学習に対する関心および意欲を取り戻すための一つの方法として、上述のような語と語との相互関係に注目した初級語彙の復習問題が考えられる。語と語との相互関係に注目した復習問題を導入することにより、初級の授業で単に暗記してきた語を、一つの語彙体系の中の語というこれまでと異なる観点から見直す機会を学習者に与えることができる。さらに、学習者の母語である日本語や既習外国語の英語などと比較する機会も与え、問題を解いていく過程でロシア語の奥深さやユニークさを実感させる効果も期待できる。

本稿では、外国人学習者のロシア語能力を測るための代表的な試験である「ロシア語検定試験⁽¹⁾」、並びに、日本語能力を測るための代表的な試験である「日本語能力試験」の語彙問題の出題方式を例として取り上げる。具体的に、語と語との相互関係に重きを置いて

(1) Тест по русскому языку как иностранному (以下、ТРКИ という)

いると言える日本語能力試験の語彙問題からヒントを得、その出題方式をロシア語語彙の復習問題の作成にどう取り入れるかについて考察を試みる。

2. 考察範囲

本稿では、中級レベルの授業に導入できると考えられる初級語彙の復習問題を取り扱うため、ロシア語および日本語の両言語に関しても CEFR の A1~A2 レベルの語彙を考察の対象とする。なお、名詞などの格変化、動詞の活用・体などを問うような問題は、語彙問題ではなく文法問題として扱い考察の対象外とする。また、以下の(1)(2)のように、一見語彙問題に見えても実際には周囲の語の形態などといった文法的知識に左右されるような問題も対象外とする。さらに、複文の接続詞を問う(3)のような統語論的な問題についても同様である。

(1)

- Позвони мне ... [1].

- Я не знаю твой ... [2] телефон.

(A) дом (B) дома (B) домой (Г) домашний

(2)

Осенью в лесу очень

(A) красивый (B) красавица (B) красный (Г) красиво

(3)

Я очень люблю кино, ... мой брат – театр.

(A) но (B) а (B) и

[Антонова, Нахабина, Толстых 2018: 6-7, 12 より]

一方、次の(4)(5)のように文法的知識に左右されない、正解を引き出すためには語そのものの意味や用法、前後の文脈から判断しなければならないような問題を考察の対象とする。

(4)

Мои друзья ... [1] в университете. Они много ... [2].

(A) учатся (B) учат (B) занимаются (Г) изучают

(5)

Недавно Антон ... в Петербург и познакомился там с Наташей.

(A) ходил (B) ездил (B) ехал

[Антонова, Нахабина, Толстых 2018: 6, 11 より]

3. ТРКИ の出題方式

ТРКИ はロシア語を母語としない学習者向けに行われる最大の検定試験である。入門レベルからレベル 4 まであり, CEFR の A1, A2 に相当するのはそれぞれ入門レベル, 基礎レベルである。ТРКИ における語彙問題は, 「語彙・文法」という一つの科目に統合され, 格変化, 動詞の活用・体などを問う問題と混在している。上記のレベルごとに出題される「Типовые тесты по русскому языку как иностранному」(Антонова, Нахабина, Толстых 2018 および Антонова, Курлова, Нахабиных, Толстых 2019)をもとに, 「語彙・文法」科目に出題される語彙問題⁽²⁾の割合を計算したところ, 表 1 のような結果が得られた。

表 1 ТРКИ 入門・基礎レベルの「語彙・文法」科目の問題構成⁽³⁾

項目 レベル	語彙 (%)	文法 (%)	合計
入門	7 (10)	63 (90)	70
基礎	31 (31)	69 (69)	100

[Антонова, Нахабина, Толстых 2018 および Антонова, Курлова, Нахабиных, Толстых 2019 をもとに作成]

表 1 から分かるように, 入門から基礎レベルへと上がるにつれ, 「語彙・文法」科目の全体に占める語彙問題の割合は大きくなる。しかし, 細かく見るとその大部分は次の(6)(7)のような, 移動動詞⁽⁴⁾あるいは同一語幹を持ち意味が全く異なるという語を問う問題が占めており, 初級レベルでは両者の数がもともと限られているため紋切り型の問題になる傾向が見られる。

(6)

Что такое ... [1]? Это страна, где ты живёшь, или это место, где ты ... [2]?

- (A) день рождения (Б) родина (В) родители (Г) родился
- (A) день рождения (Б) родина (В) родители (Г) родился

(2) 本稿において語彙問題として扱う対象は, 「2. 考察範囲」を参照されたい。

(3) 年度により実際の問題構成は多少変わるものの, 全体に占める語彙問題の割合はほとんど変わらない。

(4) 本稿では接頭辞付きの移動動詞も含めて「移動動詞」と呼ぶ。

(7)

Мы ... [1] из автобуса, ... [2] в гостиницу, оставили там свои вещи и ... [3] осматривать город.

- | | | | |
|----|-----------|-----------|-------------|
| 1. | (A) вошли | (B) шли | (B) вышли |
| 2. | (A) дошли | (B) вошли | (B) подошли |
| 3. | (A) шли | (B) пошли | (B) пришли |

[Антонова, Курлова, Нахабина, Толстых 2019: 6, 12 より]

上記の例からも分かるように、TRKI 入門・基礎レベルにおける移動動詞 (《ходить》/《входить》/《выходить》, 《ходить》/《идти》など) や同一語幹を持つ語 (《родина》/《родители》/《родиться》, 《друг》/《дружить》/《дружный》など) を扱う語彙問題に限って言えば、その中核的な意味や文法的特徴が正解を引き出すためのヒントになる場合がほとんどである。つまり、原文に《страна》とあれば《родители》ではなく《родина》を選び、《из автобуса》とあれば《войти》ではなく《выйти》を選び、《его》とあれば《рассказал》ではなく《спросил》を選べばよいわけである。初級レベルではその程度の知識で充分とされているが、実践的な外国語運用に求められる、様々な語と語との相互関係や文脈への依存などを含めた語彙に関するより体系的な知識を与えないことが初級レベルの語彙問題の大きな弱点である。上記の理由から、中級に進級した学習者は初級で《ехать》/《ездить》と《идти》/《ходить》という移動動詞を習ったとしても、例えば乗り物としての《автобус》の場合には《едет》/《ездит》を使うのに対し路線バスとしての《автобус》の場合には《идёт》/《ходит》を使うという知識が身につけていないことが多い。このような観点から、日本語能力試験の出題方式のほうが、TRKI のような一般の語彙問題よりも語彙を広くかつ細かく扱っているため、中級レベルにおける初級語彙の復習に効果的であると言える。次節では、日本語能力試験はどのような出題方式を取り入れているのかについて見ていく。

4. 日本語能力試験の出題方式について

日本語能力試験は、国際交流基金および日本国際協力支援協会が共同で実施する、外国語としての日本語能力を測る代表的な試験であり、2010年より課題遂行のための言語コミュニケーション能力を測る新しい試験⁵⁾として生まれ変わった経緯がある。N5～N1までの5段階レベル⁶⁾から成っており、試験科目は「言語知識」「読解」「聴解」の三つであり、N2, N1レベルの「言語知識」には「文字」「語彙」「文法」の項目が入っているのに対し、N5, N4, N3レベルの場合には、試験に出題可能な語彙や文法項目が少なく、問題がお互いにヒントになってしまう可能性を排除するために、「文法」は「文字・語彙」ではなく「読

(5) 「新日本語能力試験」ともいう。

(6) うち、N5が最下でN1が最上のレベルである。

解」と統合されている⁷⁾。また、CEFR に準拠して作成された試験ではないため、作文および口頭試験は実施されないという点も TRKI と大きく異なる点である。さらに、TRKI と違い語彙や文法項目の一覧を載せた出題基準は出版されていない⁸⁾。しかし、レベルごとの認定目安⁹⁾からすれば、日本語能力試験の N5 レベルは TRKI の入門レベル、N4 レベルは基礎レベルに概ね相当すると言えるため、本稿において初級レベルについて言及する際、ロシア語の場合は TRKI 入門・基礎レベル、日本語の場合は日本語能力試験 N5・N4 レベルをそれと見なす。

日本語能力試験 N5, N4 レベルの「言語知識」は、以下の表 2 のように下位分類化され、年度に関わらず項目ごとの問題数が決まっている。

-
- (7) 一方、TRKI では、低いレベルにおいても「語彙」と「文法」は同一科目内で取り扱われている。
- (8) TRKI では、レベルごとに基準 («Государственный стандарт по русскому языку как иностранному») が公開されており、さらに各レベルの語彙集も別途出版されている。
- (9) 日本語能力試験 N5 レベルに関しては、「基本的な日本語をある程度理解することができる。ひらがなやカタカナ、日常生活で用いられる基本的な漢字で書かれた定型的な語句や文、文章を読んで理解することができる。教室や、身の回りなど、日常生活の中でもよく出会う場面で、ゆっくり話される短い会話であれば、必要な情報を聴き取ることができる。」という目安が設けられており、N4 レベルに関しては、「基本的な日本語を理解することができる。基本的な語彙や漢字を使って書かれた日常生活の中でも身近な文章を、読んで理解することができる。日常的な場面で、ややゆっくりと話される会話であれば、内容がほぼ理解できる [国際交流基金・日本国際教育支援協会 2009: 10]」という目安が設定されている。一方、TRKI 入門レベルに関しては、「このレベルでは、外国人学習者に、最低限の場面においてロシア語母語話者とのコミュニケーションに対する基本的なニーズを満たすことが求められる。また、この場合、コミュニケーションの場면을日常生活、文化、社会に限らせる。なお、上記の分野に関するコミュニケーションをこなすための言語ツールを、当該レベルでのコミュニケーションのニーズに応じて必要最低限のものとする (Andryushina, Vladimirova, Nahabina, Soboleva 2001: 4 より)」とあり、基礎レベルに関しては、「このレベルでは、外国人学習者に、予想できる特定の場面においてロシア語母語話者とのコミュニケーションに対する最低限のニーズを満たすことが求められる。また、この場合、コミュニケーションの場면을日常生活、文化、社会および教育に限らせる。なお、上記の分野に関するコミュニケーションをこなすための言語ツールを、当該レベルでのコミュニケーションのニーズに応じて必要最低限のものとする (Andryushina, Antonovala, Danilina, Zhorova, Nahabina, Soboleva et al. 2001: 4 より)」と記載されている。

表2 日本語能力試験 N5, N4 レベルの「言語知識」の問題構成

試験科目		大問	問題数	
			N5	N4
言語知識	文字 ・ 語彙	漢字読み	12	9
		表記	8	6
		語形成	—	—
		文脈規定	10	10
		言い換え類義	5	5
		用法	—	5

[国際交流基金・日本国際教育支援協会 2009: 14 をもとに作成]

表2からも明らかなように、「言語知識（文字・語彙）」は「漢字読み」「表記」「語形成」「文脈規定」「言い換え類義」「用法」の6つの大問に下位分類化されており、そのうちの「漢字読み」「表記」「語形成」は、語彙よりも文字に関わる問題であるため本稿では取り上げず、「文脈規定」「言い換え類義」「用法」のみについて考察していく。日本語能力試験の「文脈規定」とは、「文脈によって意味的に規定される語が何であるかを問う（国際交流基金・日本国際教育支援協会 2009: 23）」問題、「言い換え類義」とは「出題される語彙や表現と意味的に近い語や表現を問う（同 2009: 23）」問題、また、「用法」とは「出題語が文の中でどのように使われるのかを問う（同 2009: 22）」問題のことを言う。

N4 レベルの過去問を例として、「文脈規定」(8a,b)、「言い換え類義」(9a,b)、「用法」(10a,b)の順に具体的に見ていく⁽¹⁰⁾。

(8)

問題：() に なにを いれますか。1・2・3・4から いちばん いい ものをひとつ えらんで ください。

a. () しないで、どうぞ たくさん たべて ください。

1 しつれい 2 しっぱい 3 えんりよ 4 はんたい

b. スーパーで もらった () を 見ると、何を 買ったか わかります。

1 レジ 2 レシート 3 おつり 4 さいふ

(10) 各問の表記は原文通りとなっている。

(9)

問題： つぎの ぶんと だいたい おなじ いみの ぶんが あります。 1・2・3・4から いちばん いい ものを ひとつ えらんで ください。

- a. だいどころに りょうりが のこっています。
- 1 りょうりは だいどころに まだ あります。
 - 2 りょうりは だいどころに もう ありません。
 - 3 だいどころで りょうりを つくって います。
 - 4 だいどころで りょうりを よういして います。
- b. パスポート ばんごうを しらせて ください。
- 1 パスポート ばんごうを うつして ください。
 - 2 パスポート ばんごうを なおして ください。
 - 3 パスポート ばんごうを きめて ください。
 - 4 パスポート ばんごうを おしえて ください。

(10)

問題： つぎの ことばの つかいかたで いちばん いい ものを 1・2・3・4から ひとつ えらんで ください。

- a. じゅうしょ
- 1 としょかんの となりの じゅうしょは ゆうびんきょくです。
 - 2 あしたの かいぎの じゅうしょは 5かいです。
 - 3 ここに あなたの うちの じゅうしょを かいてください。
 - 4 わたしに Eメールの じゅうしょを おしえてください。
- b. けんぶつ
- 1 きのう、いもうとと 大きな 花を けんぶつしました。
 - 2 きのう、テレビで にほんの ニュースを けんぶつしました。
 - 3 きのう、ともだちと きょうとの まちを けんぶつしました。
 - 4 きのう、しごとで 車の こうじょうを けんぶつしました。

[国際交流基金・日本国際教育支援協会 2009: 28-30 より]

上記の例からも分かるように、日本語能力試験の語彙問題は、(8a,b)のように語彙を文脈と結び付け、(9a,b)のように類義語や類似表現と関連づけ、また、(10a,b)のように用法に注目している点が特徴として挙げられる。例えば、「文脈規定」に属する(8a)のような問題を仮にロシア語母語話者が解くとすれば、「反対しないで」を選ぶ可能性があると考えられる。なぜなら、ロシア語の場合、同様の文脈において«Не возражайте, ешьте.»あるいは«Не сопротивляйтесь, ешьте.»という言い方⁽¹¹⁾ができるからである。また、仮に学習者が「遠慮

(11) やや冗談めいた言い方である。

しないで食べてください。」を«Не стесняйтесь, ешьте, пожалуйста.»と関連づけて正解できたとしても、文脈の影響を無視して日本語の「遠慮する」とロシア語の«стесняться»を一对一で対応させてしまえば、今度は語のレベルで「恥ずかしがる」などとの区別がつかなくなり、「恋人の前で遠慮して口が利かなくなった」のように異なる文脈では間違った言い方をするのがあり得る。そのため、語彙復習の問題は、学習者をこのような文脈の重要性を理解させる必要があると考えられる。次に、「言い換え類義」に属する(9a)のような問題において、「残っている」「まだある」「用意している」という表現がものの存在を表す点では類似しているが、ニュアンスが異なる⁽¹²⁾ため「残っている」を「まだある」に置き換えることができても「用意している」に置き換えることができない。このように、置き換えの可否という観点から語と語との関係に注目することにより、はじめてその語の意味に含まれる細かいニュアンスを認識することがある。最後に、「用法」に属する(10a)のような問題に取り組む学習者は、「住所」「アドレス」「場所」「位置」などといった語を一つの意味的グループとして捉え、「家の住所を書く」とは言えても「メールの住所」「会議の住所」「隣の住所に」とは言えず、「メールアドレス」「会議の場所」「隣に」と言わなければならないという用法に関する特徴を学ぶことができる。

上記の「文脈規定」「言い換え類義」「用法」の問題に共通する点として、個々の語を単独で見るのではなく他の語との相互関係に注目しながら文脈、意味のニュアンス、用法による使い分けを問うものであるという点が挙げられる。このような観点から、学習者に語彙を一つの体系として理解させることを目的とするような語彙復習に極めて効果的であると言える。次節では、上記の「文脈規定」「言い換え類義」「用法」の出題方式を、中級レベルでの初級語彙復習にどのように導入できるかについて見ていく。

5. 日本語能力試験の出題方式を取り入れたロシア語語彙の復習問題案

本節では、中級レベルのロシア語授業での初級語彙の復習に取り入れることが有意義であると考えられる、日本語能力試験の「文脈規定」「言い換え類義」「用法」の三つの出題方式を用いた問題例をいくつか提案する。うち、(11a,b)は「文脈規定」、(12a,b)は「言い換え類義」、(13a,b)は「用法」にそれぞれ相当する。これらの問題例を作成するにあたり、ТРКИ基礎レベルの語彙集⁽¹³⁾および国家基準⁽¹⁴⁾を参考にした。

(12) 「残っている」には不完全性、「用意している」には完全性のニュアンスが含意される。

(13) Лексический минимум по русскому языку как иностранному. Базовый уровень. Общее владение (Андрюшина, Козлова 2011)

(14) Государственный стандарт по русскому языку как иностранному. Базовый уровень. Общее владение (Антонова, Курлова, Нахабина, Толстых 2019)

(11)

- a. - Ты написал письмо?
 - Да, вчера. И отправил.
 - А посылку?
 - ...
 (A) Нет, не посылку.
 (B) Нет, не отправил.
 (B) Нет, не вчера.
 (Г) Нет, не написал.
- b. Дайте мне ..., чтобы я смог написать вам ответ.
 (A) руку (B) письмо (B) вопрос (Г) время

(12)

- a. *Здорово!*
 (A) Не болей! (B) Замечательно! (B) Какой большой! (Г) Привет!
- b. *Песня рассказывает о глубоких чувствах девушки к парню.*
 (A) необычных (B) серьёзных (B) сложных (Г) тяжёлых

(13)

- a. *войти*
 (A) В этом году я уже не вошла в своё старое платье.
 (B) Новая грамматика не сразу вошла мне в голову.
 (B) Вам нужно повернуть направо и войти на эту узкую улицу.
 (Г) Эта актриса отлично вошла в свою роль.
- b. *выход*
 (A) Экскурсовод объяснил выход из музея.
 (B) Недавно я узнал о его выходе из политики.
 (B) *(В театре)* Ты не знаешь, когда выход этого актёра?
 (Г) В понедельник у меня уроки, а во вторник – выход в парк .

ここで、各問題について詳しく見ていく。まず、「文脈規定」の(11a)では、「Нет, не...」で何が否定されているかが問われ、正解を引き出すためには会話全体の文脈から判断しなければならない。(11b)では、いずれの選択肢も「дайте」と共起できるため、文全体の文脈を見なければならない。次に、「言い換え類義」の(12a)では、選択肢にある表現が言い換えられるものとして、「病気ではない」の意味の«здоровый», 「素晴らしい」の意味の«Здорово!»,

「大きい、でかい」の意味の«здоровый», 「やあ！」の意味の«Здоров!»⁽¹⁵⁾が示唆されているが、すべてが同一語幹から派生した紛らわしい語であると言える。「言い換え類義」は、このような紛らわしい語を一つのグループとして扱い、それぞれの意味のニュアンスに注目する出題方式である。(12b)では、«чувства»と共起できる形容詞が選択肢に挙がっており、«глубокие»と類似した意味を持ち置き換え可能なものが問われる。最後に、「用法」の(13a)および(13b)は、選択肢にある言い方ができるかどうかを問う問題である。具体的に、(13a)では、ロシア語の«войти»と日本語の「入る」にみられる用法の違いが示唆されている。日本語の場合には「ワンピースが入らない」「頭に入る」「道に入る」という言い方ができるのに対し、ロシア語の場合には«не войти в одежду»ではなく«не влезть в одежду», «войти в голову»ではなく«отложиться в голове», «войти на (узкую) улицу»ではなく«выйти на (узкую) улицу»⁽¹⁶⁾という言い方をする。一方、ロシア語では«войти в роль»という言い方ができるのに対して、日本語では「役に入る」ではなく「なりきる」という言い方をする。また、(13c)では、ロシア語の«выход»と日本語の「出口」にみられる用法の違いが示唆されている。具体的に、日本語では「出口を教える」という言い方ができるのに対し、ロシア語では«объяснить выход»ではなく«показать выход»(出口を見せる)または«объяснить, где находится выход»と言わなければならない。また、日本語では「外に出る、外出する」という動詞も「外出」という名詞も両方存在するのに対し、ロシア語では«выходить на улицу»とは言えても«выход на улицу»や«выход в парк»とは言えない。また、日本語の「政治を引退する」ことをロシア語で«выходить из политики / выход из политики»ではなく、«уходить из политики / уход из политики»⁽¹⁷⁾と言う。一方、ロシア語の«выходить на сцену / выход на сцену»に対しては日本語でも「舞台に出る、出番」という言い方をし、両言語において「内から外に移る」を意味する動詞が用いられるという類似点が見られる。

5. 最後に

このように、本稿ではTRKI および日本語能力試験に出題される語彙問題を比較し、その結果、後者は前者と違い、語と語との相互関係、コロケーションを含めた用法の特徴、文脈の重要性に注目していることが分かった。日本語能力試験で採用されている「文脈規定」「言い換え類義」「用法」という出題方式のほうが、TRKI のような出題方式よりも学習者の意識的かつ体系的な語彙学習に貢献でき、中級レベルの授業での初級語彙の復習に最適であるという結論に達した。そこで、筆者は上記3つの出題方式を用いて、ロシア語語彙の問題例をいくつか作成し、どのように導入できるかについて一案を示した。この問

(15) 口語的表現である。

(16) 因みに、車などの場合にも同様に、«въехать на (узкую) улицу»ではなく«выехать на (узкую) улицу»と言う。

(17) 「政治を去っていく」

題に取り組む学習者は、初級レベルの授業で単に暗記してきた語彙について、その用法や意味のニュアンス、他の語との関係を認識し直し、母語である日本語とも比較できることから、ロシア人特有の言語感覚の理解につながり、自らの言語感覚も養われることが予想される。さらに、思い出させるよりも考えさせるという性質を持つ問題であるため、学習者の語彙学習に対する関心を取り戻し、主体的に取り組ませるといった効果も期待できる。

参考文献

- 国際交流基金・日本国債教育支援協会 2009. 『新しい「日本語能力試験」ガイドブック 概要版と問題例集 N4, N5 編』. 凡人社.
- Андрюшина Н. П., Антонова В. Е., Данилина О. В., Жорова А. В., Нахабина М. М., Соболева Н. И. et al. 2001. *Государственный стандарт по русскому языку как иностранному. Базовый уровень*. СПб., Златоуст.
- Андрюшина Н. П., Владимирова Т. Е., Нахабина М. М., Соболева Н. И. 2001. *Государственный стандарт по русскому языку как иностранному. Элементарный уровень. Общее владение*. СПб., Златоуст.
- Андрюшина Н. П., Козлова Т. В. 2011. *Лексический минимум по русскому языку как иностранному. Базовый уровень. Общее владение*. СПб., Златоуст.
- Андрюшина Н. П., Козлова Т. В. 2012. *Лексический минимум по русскому языку как иностранному. Элементарный уровень. Общее владение*. СПб., Златоуст.
- Антонова В. Е., Курлова И. В., Нахабина М. М., Толстых А. А. 2019. *Типовые тесты по русскому языку как иностранному. Базовый уровень. Общее владение. Варианты*. СПб., Златоуст.
- Антонова В. Е., Нахабина М. М., Толстых А. А. 2018. *Типовые тесты по русскому языку как иностранному. Элементарный уровень. Общее владение. Варианты*. СПб., Златоуст.